

(別紙様式4)

### 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
エス・ワン動物 専門学校	平成16年7月5日	武田美千子	〒060-0001 札幌市中央区北1条西19丁目2番地7 (電話)011-623-1121		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人高橋学 園	平成16年7月5日	高橋 淑子	〒064-0810 札幌市中央区南10条西20丁目1番38号 (電話)011-623-1121		
目 的	ペットの総合的な基礎知識とともに、犬に関する動物看護技術の専門的な教育を行い、動物看護師として活躍できる技術者を養成する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付与	高度専門士の 付与
専門課程	動物看護学 科	2年(昼)	95単位	平成6年文部省 告示第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	46単位	3単位	0単位	46単位	0単位
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	23人	1人	20人	21人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法につ いて 試験、出席率、授業態度等で5段階 評 価		
長期休み	■学年始め:4月11日 ■夏 季:7月25日～8月15日 ■冬 季:12月23日～1月19日 ■学 年 末:3月14日	卒業・進級条 件	各学科の全科目を履修すること		
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任から生徒、父母と相談する	課外活動	■課外活動の種類 動物愛護週間行事への参加 ■サークル活動(有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 動物病院 ■就職率 100%	主な資格・検 定	・動物看護職統一認定機構動物看 護師 ・愛玩動物飼養管理士1級		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 5.7%</p> <p>平成28年4月 1日在学者 35名(平成28年4月入学者を含む)</p> <p>平成29年3月31日在学者 33名(平成29年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>学費問題、進路変更</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>学費等の分割納入制度</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.s-1gs.co.jp">www.s-1gs.co.jp</a>

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

・企業、業界団体等との連携によりペット関連業界の動向を踏まえ、企業等の派遣講師による特別講義や企業等で実習を行い、動物看護やペットの美容などに関する最新の知識、技術の習得を図る。  
(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

#### 名 前 所 属

武田 美千子 エス・ワン動物専門学校 学校長  
近藤 厚 高橋動物病院 院長  
山下 昭男 (有)エヌエスクリーン代表取締役 (わんわんショップかくれんぼ代表)  
名取 裕憲 ドッグケアサポート代表  
平木 守洋 北海道オールペット組合 会長

### (開催日時)

第1回 平成29年10月12日 17:00～18:00 (予定)  
第2回 平成30年2月15日 17:00～18:00 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

動物看護師として必要な動物や医療機器に関する知識等を修得し、実践的かつ専門的な能力を有する人材を育成する。

	科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
外科動物看護実習	動物病院での看護、補助役としての実務を学習		ハーティ動物病院 他
動物臨床検査実習	動物病院の検査の目的の理解、手法の習得		高橋動物病院 他
グルーミング応用実習	ペットサロン等でのグルーミング技術の習得		スイートトムボーイドッグ 他
ペットマッサージ	ホリスティック医療の知識とペットマッサージの手技を習得		川地ヒロ
学外看護実習Ⅰ	動物病院の役割、業務内容を学習		ノースアニマルクリニック 他
学外看護実習Ⅱ	動物病院での業務を学びながら動物看護師の役割を習得		高橋動物病院 他

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

教員の実務に関する知識、技術及び技能並びに授業及び生徒に対する指導力の修得・向上を目的として、教員の業務経験や能力に応じて研修等の受講を行う。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

#### 名 前 所 属

山下 昭男 (有)エヌエスクリーン代表取締役 (わんわんショップかくれんぼ代表)  
木嶋 俊雄 第一ペット商事(株) 専務取締役  
山橋 薫 卒業生  
中島益美 地域住民

### (学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにて公開

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

入学案内、ホームページで提供

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			動物形態機能学Ⅰ	動物病院における主な診察対象である犬猫の基本的な身体の構造と機能について理解する	1 前期	30	1	○		
○			動物健康管理学 (グルーミング学)	グルーミングの目的、必要性を理解し、グルーミング実習につなげる	1 前期	30	1	○		
○			動物行動学Ⅰ(犬学)	基本的な犬の動作から脚歩行まで、しつけ教室の基本を学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物栄養学Ⅰ	犬や猫に必要な栄養素やライフステージにおける栄養バランスの変化について学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物医療関連法規 (動物飼養管理学Ⅰ)	動物医療を取り巻く法の理念と目的を理解する	1 前・後期	30	1	○		
○			公衆衛生学	動物に発生する感染症や、人獣共通感染症の病原体、感染源、伝播様式、臨床症状、予防等について学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物人間関係学 (AAA・AAT概論)	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し人と動物の共生に寄与する	1 前期	30	1	○		
○			ビジネスマナー学Ⅰ	基本的なマナーを知り、それを身に付けることを通して、より豊かな教養ある人物を目指す	1 前期	30	1	○	△	
○			総合学習	学内での各種行事に参加し、コミュニケーション能力を身につける	1 前・後期	52	1	○		
○			企業実践講座	広く様々なペットフード・ペット用品メーカーから製品の特徴やセールスポイントについて学ぶ	2 後期	14	0.5	○		
○			動物繁殖学	さまざまな生物の繁殖の概要と、具体的な繁殖の手法について犬・猫を中心に学ぶ	2 後期	16	0.5	○		
○			動物行動学Ⅱ(猫学)	猫への知識、グルーミングの技術について学ぶ	2 後期	20	1	○	△	
○			飼養管理学 (動物飼養管理学Ⅱ)	愛玩動物に関する専門的知識を高めるとともに、動物愛護や人と動物の共生について学び、1級の資格取得を目指す	2 前・後期	30	1	○		
○			院内コミュニケーションⅡ (手話学)	視覚障害者とのコミュニケーション手段の手話の技術を修得すること及び聴覚障害者福祉の促進を図る	2 前期	20	1	○	△	
○			ビジネスマナー学Ⅱ	身に付けたマナーを日常生活や社会生活の中で活かし、社会に出て求められる人材となることを目指す	2 前・後期	30	1	○	△	
○			総合学習Ⅱ	学内での各種行事に参画することにより、応用力や社会性を高める	2 前・後期	36	1	○		
○			動物形態機能学Ⅱ	動物の基本的な構造と働きを理解する。 総ての協会の基礎となり様々な疾患を理解する上で必要な知識を学ぶ	1 前・後期	90	3	○		
○			動物栄養学Ⅱ	栄養学的に見た犬猫と人の違いを理解する ライフステージに合わせた食餌の与え方を学ぶ	1 後期	30	1	○		
○			動物疾病看護学Ⅰ	主要な疾患の原因・症状・診断・治療・予防について理解する	1 前・後期	60	2	○		
○			動物感染症学	動物における微生物・内部寄生虫・外部寄生虫による疾患とその感染様式を理解する	1 前・後期	60	2	○		
○			病原体・衛生管理学	病原体により引き起こされる感染症のその予防法について知識を深め院内感染の危険性を理解する	1 前期	30	1	○		
○			動物福祉論	動物医療現場で直面する生命倫理について理解を深める 動物福祉を考慮するための基本的理念を理解する	1 後期	30	1	○		
○			動物看護学	動物の健康管理について正しい知識を身に付け、的確な指導やアドバイスができるように学ぶ	1 前期	16	0.5	○		
○			臨床動物看護学Ⅰ	症状や疾患にあわせた看護を学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物臨床検査学	一般に動物病院で行われている検査の目的を理解し、基本的な手法を習得する	1 後期	30	1	○	△	
○			院内コミュニケーションⅠ	動物診療現場における飼主対応、接遇を学び、状況に応じたコミュニケーション力を身につける	1 前・後期	50	2	○		
○			動物飼育実習Ⅰ(グルーミング基礎実習)	グルーミング作業を通して犬の扱い方などの基本を身につける	1 前・後期	480	12			○
○			動物看護実習Ⅰ	動物看護師に必要とされる看護の基礎技術を実技を通して習得する	1 前・後期	120	3	○		
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	基本的な器具や検体の取扱い、片付け方、手技を身につける	1 後期	120	3			○
○			外科動物看護実習Ⅰ	看護、補佐役としての機器の名称、目的、取扱いを理解する	1 後期	60	2			○
○			学外看護実習Ⅰ	動物病院の現場実習を通して、動物看護師としての意識を高め、職業観を身につける	1 後期	112	3			○
○			学外研修Ⅰ	学校外で行われる各種行事を見学、参加してペット業界への理解を深める	1 前・後期	44	1		○	
○			動物形態機能学Ⅲ	動物の基本的な構造と働きを理解する。 総ての協会の基礎となり様々な疾患を理解する上で必要な知識を学ぶ	2 前期	30	1	○		
○			動物病理学	病気によっておこる身体の変化について学ぶことで病気の原因、成り立ち、経過を理解する。	2 後期	30	1	○		
○			動物疾病看護学Ⅱ	器官別に代表的な疾患を学び、実践に生かせるよう特有の検査、看護内容の知識の習得	2 前・後期	90	3	○		
○			動物薬理学	身近な薬物や小動物臨床でよく使われるものをとりあげつつ、作用機序、副作用について学ぶ	2 後期	30	1	○		

○		臨床動物看護学Ⅱ	看護の基本を理解し、疾病動物を前にして行うべきこと、予測されることを学ぶ。	2 前・後期	60	2	○		
○		動物入院管理	入院動物を看護するにあたり動物看護過程の流れを元に看護計画を立てる必要性を理解する	2 後期	30	1	○		
○		幼齢動物・老齢動物管理	新生子期から幼年期、高齢期の身体的変化、精神的变化を理解し的確な看護技術を習得する	2 前期	30	1	○		
○		救命救急対応	救命救急について必要な知識を学び、動物看護師として補助できる手法を修	2 後期	16	0.5	○		
○		クライアントエデュケーション	飼い主様への確かな指導を行えるための説明能力や傾聴姿勢を身に付け、個別に応じた教育方法を習得する	2 後期	30	1	○		
○		動物飼育実習Ⅱ (グルーミング応用実習)	時間配分を考え、グルーミング犬種の全身カットがひとりで出来る技術を身に付ける。	2 前・後期	480	12			○
○		動物看護実習Ⅱ	動物看護師に必要とされる看護の応用技術を実技を通して習得する	2 前・後期	120	3			○
○		動物臨床検査学実習Ⅱ	動物病院で行われている検査の目的の理解し、基本的な手法を習得する	2 前・後期	120	3			○
○		外科動物看護実習Ⅱ	動物看護師のフィールドでの最低限の外科学と外科技術の習得	2 後期	60	2	○		○
○		学外看護実習Ⅱ	現場実習を通して、更なる知識・技術の向上をはかるとともに、臨床経験を生かし、即戦力となる人材を育成する	2 前・後期	320	8			○
○		統一試験対策講座	認定動物看護師資格取得に向けての対策講座	2 後期	30	0	○		
○		学外研修Ⅱ	学校外で行われる各種行事に参加し、ビジネスマナーの対応力を高める	2 前・後期	80	2		○	
合計			48科目		3386単位時間(95単位)				